



## 体育祭(代替行事)を行いました



5月29日(土)、青空と青葉が目まぶしい快晴の中、体育祭(代替行事)が開催されました。快晴に恵まれたものの、風が強く、急遽(きゅうきょ)テントの使用を中止せざるをえないハプニングがありましたが、計画通りの体育祭を行うことができました。

開会式では、生徒会長 水口琥太郎さんのあいさつ、体育委員 工藤慎一郎さんと田尾紗彩さんの生徒代表宣誓があり、式後、生徒会役員から全校生へのエールが披露されました。いずれも、体育祭を自分たちの手で成功させたいという熱い思いが伝わってきました。

まず合同(ラジオ)体操がすばらしかったと思います。体育祭の前日、多くの学校で体育指導をされてきた久保先生からも「どこに出しても恥ずかしくない」すばらしいラジオ体操だとお褒めの言葉をいただいていた。みなさんは当たり前だと思っているかもしれませんが、あのラジオ体操は、そう簡単にできるものではありません。

1年生の「詫中ソーラン!」は、一生懸命さがよく伝わってくる、さわやかな演技でした。1週間前に見たときから大変な進歩でした。

こんなに短期間に上達するのだと驚きました。2年生の「やってみよう!」は、見ていて楽しく、元気をもらえる演技でした。オリジナルの振り付けがとても曲に合っていて、演技の揃い具合も見事でした。そして3年生の「総舞黎」。圧巻でした。ひたむきに練習に取り組んだことがよく分かり、3年生の「気迫」が心に迫ってきて目頭がジーンと熱くなりました。感動しました。アンコールを終えて朝礼台前に整列し、実行委員長の森康晃さんが語った言葉に、3年生の「総舞黎」に対する思いが集約されていました。

今日は、3年生の「総舞黎」を見ていただき、ありがとうございました。僕たち三年生は、詫間中学校の伝統を引き継ぎ、史上最高をめざし、日々努力してきました。僕たちは、去年かなわなかった先輩たちの想いを背負い、練習してきました。

しかし、今年もコロナの影響により、制限された部分がありました。それでもダンスリーダーを中心に、あきらめずに努力を重ねてきました。練習を見てくださった先生方、本当にありがとうございました。この感謝の気持ちは決して忘れません。

そして、一緒に踊った103人の仲間たち、本当にありがとうございました。みんなの手形が押された旗のように、これからも力を合わせて、最高の3年団をつくりあげていきましょう。



新型コロナウイルス感染症対策のため、時間を短縮したり保護者の参加人数制限をしたりするとともに、マスクの着用や受付、保護者同士が密にならないようご配慮と、様々な場面でご不便をおかけいたしました。全ての参加者のみなさまにご協力をいただきました。本当にありがとうございました。